

ルの各硫酸鹽と銅の硫酸鹽及硝酸鹽或は又兩者の内一種と尙又都合により硫酸マグネシウムとを加へて共に熔融して得たる金屬生成物とニッケル、銅、錫、鉛、アルミニウムとを融合して生成せる合金 二、豫め硼砂又は重碳酸曹達と水銀、カドミウム、ニッケル、の各硫酸鹽と銅の硫酸鹽及硝酸鹽或は兩者の内一種と尙都合により硫酸マグネシウムとを加へて共に熔融したるニッケル、銅、錫、鉛、及アルミニウムを添加しを添加後の熔融状態に於て該熔解調合物約五十パーセントと金屬、アルミニウム約四十五パーセントを含有せしめて生成せる第一項記載の合金 三、硼砂凡六十分硫酸銅及硝酸銅合せて十七分或は硫酸銅若しくは硝酸銅の内何れか凡十七分、硫酸水銀凡一分、硫酸カドミウム凡二分及硫酸ニッケル凡十五分より成れる熔劑の中に融解して生成し、ニッケル凡三分、銅凡三分、鉛凡一分、アルミニウム凡九十分より成れる合成本幹金屬^{ストンクメタル} 四、請求範圍第三項に記載せる本幹金屬の八分乃至十分とアルミニウム凡九十分、錫凡四分及鉛凡一分とより成れる合成金屬 五、請求範圍第三項に記載せる本幹金屬凡二十分と錫凡九分、鉛二分及アルミニウム凡百六十九分とより成れる合成金屬 六、請求範圍第三項に記載せる本幹金屬凡三十分と銅凡二十分、アルミニウム凡五十分とより成れる合成金屬 七、

硼砂凡六十分硫酸銅及硝酸銅合せて凡十七分、或は硫酸銅若しくは硝酸銅の内何れか凡十七分、硫酸水銀凡一分硫酸カドミウム凡二分、硫酸マグネシウム凡五分及硫酸ニッケル凡十五分より成れる熔劑の中に融解して生成しニッケル凡三十分、銅凡五分、アルミニウム凡五十七分、錫凡六分、鉛凡二分より成れる合成金屬 八、白鐵凡一分と請求範圍第四項、第五項第六項若しくは第七項に示せる如き合成金屬の凡二分との調合物よりなり鑛として使用に供せらるゝアルミニウム合金。

商 况

海 外 商 况

○米國金物市况

鋼鐵取引は引續き好況を示し、六月の鋼鐵産額及び輸出は五月に於るよりも夥しく、輸出向注文甚だ多くして船腹の不足を告げつゝあり、多量の鐵道用鋼材は目下契約中に於て製鋼工場は一九一三年以來の多忙を來すへし。

鋼鐵市況は甚しき騰貴なきも強硬の傾きあり、今日の取引模様より判断すれば八月か遅くとも九月には製鋼業者は其全力にて運轉するに至るべく、出荷は期日に間に合はず

價格は今日よりも一層騰貴するに至るへし。

鋼市場の此盛況に引きかへ屑鐵、骸炭及び銑鐵の市況は一般に不活潑にして比較的軟弱なり。何れも其價格の著しき變動なく取引價格は十二月、一月頃に於けると大差なし。

コンネルスビル骸炭の生産及び出荷は十二月に於ける一週間二〇〇、〇〇〇噸に對して二三三〇、〇〇〇噸にして、六五パーセントの増加なり、最近二ヶ月間の屑鐵市況は一月に於るよりも稍々不活潑にして、價格は稍々下落せり、銑鐵市場の取引餘り多からず。

直接輸出及び兵器注文中には銑鐵よりも鋼鐵の注文多し、爲めに鋼鐵市況は現今の活氣を呈せるも銑鐵市場は其影響を蒙らず。然れども鋼鐵の非常なる活躍は銑鐵市況に影響するを常とす。

大なる製鋼所にては平時の需要に應ずるだけの鑛鑪を有するのみなれば、製鋼の過重なる作業に對しては市場に銑鐵の供給を仰かざるへからず。故に特種のベセマー及び鹽基性銑鐵を吸収し鑄物銑の不況を補ふへし。

六月下旬に於ける製鋼作業は其能力の八〇パーセントに達すへしと豫想せらる。ピッツバーグにては現今已に八〇パーセントに達せるもチカゴの南部及び東部にては八〇パーセント以下にて作業せり。

今度仕事は一層増加し、爲めに益々積出しの遅延を來すへく、斯かる場合に必ず顯るゝ、仲買及び機械製造業者の

未だ發表せざる注文の出るに至るへしと豫言せらる。如何なる割合に迄製鋼工場が實際に仕事し得るやは未だ問題なり。之等の工場は時として過度の仕事爲すを得るも、現今の様摸にては労働者の供給が工場の通常能力を出すに充分なりや疑はる。

銑鐵 近來の發展によれば銑鐵市況は曾て豫想せる程強硬ならず、四、五二ヶ月間の購買は三月に於るよりも良好なりしも全體の形勢を觀るに普通の買手及び常華客は本年中の買入をなせり、併し尙ほ多量の投機的銑鐵賣買行はれ二、三の大なる顧客は多量貯藏を有せり。作業中の熔鑪は可なり多くの契約を爲し本年終りまで全部賣り盡せり。

爐の操業率は尙ほ其能力の六割以上に達せず而して何時頃より。市價の騰貴を來すへきやは不明なり。次に銑鐵相場を擧ぐれば。

- 二號鑄物銑 フライデル フイヤ 渡し 一四・二五—一四・五〇冊
- 同 バファロー 熔鑪渡し 一二・五〇—一三・〇〇
- 同 クリーブランド 渡し 一三・二五
- 同 チカゴ 熔鑪渡し 一三・〇〇—一三・二五
- 同 バーミンガム 渡し(直拂) 九・五〇
- ピッツバーグ地方相場、バレー 熔鑪渡し
- ベッセマー銑 一三・七五
- ベーションク銑 一二・六五—一二・七五
- 二號鑄物銑 一二・七五—一三・〇〇

グレーフオージ銑 一二・五〇
 マンアブル銑 一二・七五

但しピツバーク渡しは九五仙高價なり。

鋼鐵 使用者は鋼片及び薄板用鋼銑の買入品を有し市場は規則正しく且つ平靜なり。カーネギー製鋼會社は内地市場への供給を中止せり、故に鋼鐵組合にて引受けたる二、三最近の輸出注文はチカゴ及びバーミンガムの製鋼所になされたり。

尙ほカーネギー製鋼會社は自己の注文に應ずる爲め他の製鋼所より鋼鐵の購入をなせりと傳へらる。各種鋼鐵呼値左の如し。

ヤングスタウン製鋼所渡し鋼片 一九・五〇—二〇・〇〇

同 薄板用鋼銑 二〇・〇〇—二〇・五〇

但しピツバーク渡しは五〇仙—一弗高價なり。

ピツバーク渡し鋼銑 二五・〇〇

成形鋼材 六月上旬に於ける相場は大なる製鋼工場にては鋼銑、鋼板、及び成形鋼の直渡し一・二〇仙第三期品の約定は一・二五仙なるも、小なる製鋼工場にては一・一五仙にして鋼板は尙ほ低價なり。

六月十四日カーネギー製鋼會社は其低き相場を全部撤回せり、其後他の大なる製鋼工場は徐々に高値を報し來れり。鋼銑及び成形鋼材の相場は第三期品一・二五仙、第四期品は一・三〇仙を確實に示せり。然るに鋼板は鐵道の荷車

注文の影響を受けて一・二〇仙より一・二五仙迄引上げたり。

六月十五日汽罐用鋼管は一噸に就き一ポイント即約二弗騰貴せり。亞鉛引鋼管は七月一日五ポイント騰貴し同十七日更に六ポイント上れり但し此一ポイントは一噸に就き九五仙の規定なり。亞鉛引薄板は最低五仙より六仙の呼値なり、亞鉛引鋼線は以前百封度四〇仙なりしもの本年度ひ度ひ騰貴し現今八〇仙に達せり、製鋼工場は常に引受け額を制限しつゝあり。

此騰貴は亞鉛の暴騰により惹起されたり、現時の呼値を舉ぐれば左の如し（但し特に記載なきはピツバーク渡しとす）

軌條、標準断面のもの工場渡しベセマー軌條一・二五仙、平爐軌條一・三四仙（但しコロラドを除く）

鋼板、タンク用標準のもの 一・一五—一・二五

形鋼、 一・二五

鋼銑及び帶 一・二五

箍 一・二五—一・三〇

鐵銑、ピツバーク渡し 一・二〇—一・二五

同 フイラデルファイヤ渡し 一・一七—一・二二

同 チカゴ渡し 一・一五—一・二〇

薄板、（ブリユール、アンニールド）ゲージ一〇番一・三五

同（ブラック）ゲージ二八番一・七五

亞鉛引薄板、ゲージ二八番 五・〇〇—五・五〇
ペンキ塗波板、ゲージ二八番 一・九五

亞鉛引波板、ゲージ二八番 五・〇五—五・五五

鐵力板、(一〇〇封度に就き) 三・一〇—三・二〇

鋼管、三吋—三吋(ブラック)定價表の 七九%

同亞鉛引 定價表の 五七%

ポイラー鋼管 三・五吋—四・五吋定價表の七三%

建築用リベット 一・五〇

ポイラー用リベット 一・六〇

鐵以外の金物 各種金屬の市場は異常の活氣を呈し高値を報せり、但錫は例外にして先々月と殆ど同じ相場を保てり。取引多量に行はれ、鉛は騰貴し注文は軍需品及び輸出向きなり。亞鉛は空前の投機的昂騰を繼續せり而して其頂點は近づきたるか如し。

銅、ニューヨークに於て電氣銅は確實に一封度二〇仙迄騰貴せり、之れ軍用の眞鍮製造業者か活潑なる購買をなせるに歸因す。カルメント、エンド、ヘキラ會社にて賣りたるレーキ地方の銅は二三仙の價格を保てり。併し需要者の側にては電氣銅を代用する傾きあり爲めに相場の開きは減しつつあり。

錫 五月市況は小休みの態なりしか六月下旬の取引増加は硬調を恢復せりニューヨークに於ける現時四〇仙なり。

鉛 軍需品製造家よりの多大の需要の爲め三月下旬より

騰貴を初め一時ニューヨークに於ける價格は四、三〇仙に落ちつたり、其後日々騰貴して殆んど七仙に達せり、多量の取引は市價の下落を始めさる中に行はれたり。

亞鉛 セントルイスに於ける六月七日の價格は二五仙のレコードを作れり。而て需要は殆んど同時に減少し始めた。亞鉛の取引は實際には此價格にては行はれず、他の消費者は暫時手控への傾向を示せり。價格は急激なる亂高下をなし正確なる呼値を定むる事困難なり。

他の金屬 アルミニウム市況は活氣を帯ひ強硬なり、ニューヨークに於ける價格は二七—二九仙に騰貴せり。アンチモニーは強硬を持續し價格は普通品の三五仙よりクツクソン物四八仙なり但し後者は單に呼値のみなり。水銀は再び騰貴し小口注文は七五封度入一樽一〇〇弗大口は八五弗なり、サンフランシスコに於ける價格は稍や低くして七五弗—八五弗の間にあり。

○獨逸金物市況

細物の取引は戦争の爲め産額制限の下に行はる、凡ての工場は勞力の續く限りの全力を盡して作業せり、されは若し一層勞働者を得る時は可なり彼等の生産力を増加するを得へし。價格は甚だ強硬の傾きあり三ヶ月以前と比較すれば甚しき騰貴をなせり。

四月中旬各種製品は一噸に一〇—一二馬克(二・三八—四・七六弗)騰貴し、其後尙ほ騰貴を繼續せり、軟鋼鍔の協定

價格は一三五馬克(三二・一三弗)なるも現今の取引値段は多くは一四〇—一五〇馬克(三三・三二—三五・七〇弗)の間にあり、斯かる高値は未曾有の事にして平爐鋼鋳は更に一五—二〇馬克(三・五七—四・七六弗)高價なり。厚板の約定價格は一四〇—一四五馬克(三三・三二—三四・五一弗)なるも實際の賣買は之れより稍や高價なり。薄板は一七〇—一七五馬克(四・四〇—四一・六五弗)を上下せり、鋼線及び鋼鋳の市況も同様にして後者の價格は一三五馬克(三二・一三弗)に協定せらるゝも現今の取引價格は一四〇—一四七・五馬克(三三・三二—三五・一〇弗)なり。鋼線の需要—主として軍隊用—は甚だ大にして即時渡しは最も高價なり。鋼管の價格は新規多量の注文なきも甚だ手堅し。

此數ヶ月間甚だ活潑に購買したる伊太利向輸出無くなれるも、取引價格騰貴の傾向は今暫く繼續すへしと豫期せらる。一九一三年に於ける獨逸より伊太利への鐵鋼及び其製品(機械類を除く)の輸出は七、〇〇〇、〇〇〇弗以上に昇り、各種機械類の輸出は約五、〇〇〇、〇〇〇弗に上れり。銑鐵に對する需要は一層活氣を呈し、鑄物銑は軍隊用として多大の注文あり。内地需要の多大なる爲め先月は外國注文の契約を中止せり。四月の産額は九三九、〇〇〇、噸(メートルリック)に達せり、即ち一日平均産額は三月に於けるよりも一〇一七噸の増加なり。

五月初旬製鋼組合は以前より約七馬克(一・四八弗)高價

にて半成鋼の賣出を開始せるに需要甚だ大なり、今後年内に於ける軌條の産額は充分の額に達すへしと豫期せらる。鑛石市況は輸入不足の爲め非常に強硬にして内地産銑鐵の價騰貴せり。ジーガーランドの貧鑛十噸の價、生鑛一四二馬克(三三・七九弗)燒鑛二一五馬克(五一・一七弗)にして褐鐵鑛は一九〇馬克(四五・二二弗)に上れり。ルクセンブルグの含鐵量三一%のミネット鑛は山元にて三五馬克(八・三三弗)を稱ふ。

○英國金物市況

銑鐵 市況は全體として引直し、勿論戰爭の爲めに生じたる種々の事情の爲め取引は制限せられるも四圍の狀況は満足すへきものと考へらる、積み出しの増加及び多大の海外注文は輸出貿易發展の希望を齎せり。製造者に祝すへき他の原因は相場か確かに彼等に利益を與ふる價格まで徐々に騰貴しつゝある事なり。クリーブランド地方にては、三號鑄物銑は六八志にて取引せられ近く七〇志に上るべきを豫報せり。併し其時に於ても三一志の骸炭と相當高價の原料とを用ふる時は製造者の利益は比較的少なるへし。市價の昂騰、銑鐵市況の好調にかゝはらす内地需要に新規契約の開始を期待するも得る所無かるへし。併しヘマタイト市況は不振にして國內の需要者は現今にては購入の必要なく、又一方輸出許可を得るに困難なる爲め輸出貿易も制限せらる。東海岸の各種混合品の呼値は一〇〇志にとまれり、

鐵以外諸金屬六月下旬の代價左の多し

鋼現物	八三〇五 <small>志片</small> —八三 <small>志片</small> 、一〇、〇〇 <small>志片</small>
錫現物	一六八、〇〇、〇〇—一六八、一〇、〇〇
亞鉛(イングリッシュ)	一一〇、〇〇、〇〇
鉛(イングリッシュ)	二六、一〇、〇〇
安質安尼	一二〇、〇〇、〇〇
亞鉛板(アメリカ輸入品)	一四〇、〇〇、〇〇
水銀(スブン品)	一五、〇〇、〇〇—一四、一五、〇〇

内國商況

鐵 値安物の輸入に押されて久しく漸落の歩調を辿り來りたるもの、何様本國相場は高値に居据のまゝなるを以て、内地相場は之に比して一割内外の下鞞となり従て當七月に入るや鈇丹板は鈇丹の暴騰を品薄により引續き強硬の成行を接續し、曩に無暗に下押せる丸鐵は其反動として漸く引戻したり、此時に當り恰も六日倫敦よりの飛電に依れば英國政府は鐵材料に對し現在約定のもの及び將來の約定品たるを問はず總て特別の免狀を有せされは輸出を許可せずとあり、電文簡に失して要領を得るに苦しむ所なるか兎に角英國よりの鐵類輸入は稍面倒に相成りたるは明かなり、而して之か大打撃を受けたる者は造船所なり、今や造船所は何れも海運界の好況を受けて多數の造船注文を引受けたるか鐵類暴騰の爲め巨額の違約金を安拂ふて建造約定を取消す者さへ出てたり、併し開戦以來英國鐵類の市價は特に著しく暴騰したるを以て普通の鐵類は割安なる米國に向

つて續々注文され現に米國産鐵にして當月中に輸入さるべきもの約五千噸あり、之に反して英國産鐵は殆ど船體の材料のみの輸入に止まりたるか如き有様なるを以て普通の鐵類には格別の影響なく例の鈇丹板の上進は之を例外とし大勢は中旬に輸入品か一時に殺倒せる爲め高値より下押の氣味となれり、尤も根本的材料となるへき米國相場か内地とは逆鞞關係なれば無碍に賣り難く下旬に入るや安値には弗々買氣を生し、殊に關西地方に相當出捌けたれば本國相場の高値保合と相待ち月末には漸く向上の氣運熟し來りぬ。

因に當月末に於ける相場を前月末に比較するに鈇丹引平板は九十錢乃至一圓方、鈇丹引生子板は一二十錢、鈇丹引線は物により三四十錢方、丸釘は物により二三十錢方、丸鐵は物により一二十錢乃至三四十錢方、角鐵は概して十錢方、平鐵に至りては一分物十錢乃至四十錢、二分物二十錢乃至四十錢、三分物五錢乃至二十錢、四分物及び五分物十五錢方の騰貴を告げたるか、鐵板に至りては却て五厘物及び八厘物二十錢方一分物十錢方の低落を告げ家釘は概ね保合ひたり。

銅 前月末に比し一磅七志六片安に八十一磅十志と産れたる當七月の倫敦銅先物相場は前月末の滯銅は前々月末に比し實に四千九百噸方増加して三萬八千四百九十噸となれるに加へ、英佛の軍需注文か一段落を告げたる爲軟弱の歩調となり八日には終に八十磅臺の關門を破りて急轉直下前

日に比し二磅二志六片安の七十八磅となり、一時は七十九磅まで戻したるも十五日に一磅五志安の七十七磅十五志となりてより漸落終に月末には七十二磅十志とはなれり。

翻つて内地の銅相場如何といふに三日には倫敦の一磅二志六片安の入電にて平均五十錢安を告げ、九日には八十磅臺を割りたりとの入電によりて一齊に小緩み更に十六日には倫敦が一磅五志安とありて愈よ一圓方低落し引續く倫敦の崩落相場に人氣は益軟化して商談を仕掛くるものなく月初以來僅に露西亞向きとして神戸へ電氣銅約二千噸許りの手合せ出來せしに止まり、地銅も全く商談絶え一時流行の氣味ありたる支那葉錢に含有すへき銅取引の如きも頓と不振となり、同時に相場も電氣銅にて一時五十四圓以上を唱へたるもの二十日頃には五十一圓賣りの四十九圓買ひを唱へ地銅にて四十三圓か中値となれり、去る程に二十四日には又々倫敦安に一圓内外、二十七日には更に一圓方の崩落を告げたるか二十八日には倫敦にて十二志六片高なりと聞きて人氣は多少動きたるもの、未だ相場を引締むる程の力はなく不味の裡に越月せり。

鉛 濠洲産地に於ける相場か二十三磅五志の安値を報しとると恰も時を同うして安値の廻着品か相續いて現はれたる爲め前月末に於ける氣配は俄に挫折して、一時十四圓見當に落込み居たるも其後安見越しの濠洲物も更に變化せざる一面に於て亞米利加物は最近遂に十七圓の高値に昇進し

濠洲物も亦先高を免れすと喧傳さるゝに至りし爲め月初に市價は再び立直りの風情となり、十四圓八九十錢賣りを呼ぶに至りしも纏りたる商談は未だ成立せざりしか、十二日露西亞向け約六百噸の輸出商談纏りたる爲め内地相場は愈よ強硬となれる矢先に十四日には濠洲産一躍一磅半方奔騰して二十五磅十志となれりとの入電に活氣を帯ひ、仲間取引十四圓七八十錢、小賣十五圓二十錢を呼ひて底意固き風情とはなれり。

錫 引續き兎角不商内にして氣配引立たず月半には物により五十錢乃至一圓方の低落を告げたり。

亞鉛 倫敦相場は六月に三磅高の九十八磅となり、昨年未の二十二磅に比し實に七十六磅の大鞘なるか更に在荷薄と、英國政府の制限干渉と手掛筋の思惑的買占とに因りて百十磅臺に奔騰すへき模様なりとの倫敦電報に氣配は一段と引締り、中旬頃には現物百五磅、先物九十八噸となれるも内地に於ける市價は新規輸出商談の行惱みに加ふるに小資本を以て經營せる製煉業者の投物頻出せる爲め、氣配は頓に軟弱となり相場も二三圓安の四十八九圓となり、爾來本國相場不味となれる爲め内地も亦不勢の商況となりぬ。

安質母尼 支那政府か愈よ七月一日より硫化安質母尼に對し一噸につき三十九圓、精製品に對し五十五圓宛輸出税を増課する事となしたる爲め八百二十圓、精製品一千二百圓に奔騰せるも商況活潑とならず、却つて頭は延はず、去りとして手掛筋は安値には賣らず。商況暫くボンヤリの氣味なりしか月末に至り俄然二圓方の崩落を告げたり。

○相場表 (七月調)

銑鐵

東京村上商店

釜石骸炭銑	一噸に付 百十圓	一號銑	五三
同		二號銑	四八
同		三號銑	三八
釜石木炭銑		一號銑	六八
同		二號銑	六三
同		三號銑	五八
釜石白銑			六五
同半白銑			六〇
同再製銑			八五
レツドカー銑			五五
クリブランド銑			五四
ブレナボン銑			一五〇
ガアトセリー銑			六〇
ヘマタイト銑			七五
タタ銑			四二
ベンガル銑			三八
仙人 一號銑			五二
同 二號銑			四七
同 三號銑			四二
雲州白銑			六六
粟木澤(チルド用)銑			五六
輪西銑			三八
再製銑			三〇
道具銑			三八
釜石コークス			二八
古河最上コークス			二八

商況

丸鐵

東京森岡商店

同並コークス	一七
同並コークス	二四
新瑞西	五七〇
一分五厘	五七〇
二分	五七〇
二分半	五七〇
三分	五二〇
四分	四六〇
五分	四六〇
六分	四四〇
七分	四二〇
八分	四二〇
九分	四一〇
一寸	四一〇
一寸二	四一〇
一寸四	四一〇
一寸六	四一〇
一寸八	四一〇
二寸	四一〇
二寸四	四一〇
二寸八	四二〇

角鐵

新瑞西 十貫目

新瑞西	圓拾錢
一分五厘	六〇〇
二分	五七〇
二分五厘	五七〇

平鐵

新瑞西 十貫目

一分厚	圓拾錢
二八	四一〇
二四	四二〇
二寸	四〇五
寸八	四〇〇
寸六	四〇〇
寸四	三九〇
寸二	四〇〇
一寸	四〇〇
九分	四〇〇
八分	四〇〇
七分	四〇〇
六分	四〇〇
五分	四三〇
四分	四三〇
三分	四五〇
二寸	四三〇
一寸	四三〇
一寸二	四三〇
一寸四	四三〇
一寸六	四三〇
一寸八	四三〇
二寸	四三〇
二寸四	四三〇
二寸六	四三〇
二寸八	四三〇
三寸	四三〇
三寸二	四三〇
三寸四	四三〇
三寸六	四三〇
三寸八	四三〇
四寸	四三〇
四寸二	四三〇
四寸四	四三〇
四寸六	四三〇
四寸八	四三〇
五寸	四三〇
五寸二	四三〇
五寸四	四三〇
五寸六	四三〇
五寸八	四三〇
六寸	四三〇
六寸二	四三〇
六寸四	四三〇
六寸六	四三〇
六寸八	四三〇
七寸	四三〇
七寸二	四三〇
七寸四	四三〇
七寸六	四三〇
七寸八	四三〇
八寸	四三〇
八寸二	四三〇
八寸四	四三〇
八寸六	四三〇
八寸八	四三〇
九寸	四三〇
九寸二	四三〇
九寸四	四三〇
九寸六	四三〇
九寸八	四三〇
十寸	四三〇

二分厚

三分厚

四分厚

寸四	三九五
寸二	三九五
一寸	三九五
八分	三九五
七分	三九五
六分	三九五
五分	三九五
四分	三九五
三分	三九五
二寸	三九五
一寸	三九五
一寸二	三九五
一寸四	三九五
一寸六	三九五
一寸八	三九五
二寸	三九五
二寸四	三九五
二寸六	三九五
二寸八	三九五
三寸	三九五
三寸二	三九五
三寸四	三九五
三寸六	三九五
三寸八	三九五
四寸	三九五
四寸二	三九五
四寸四	三九五
四寸六	三九五
四寸八	三九五
五寸	三九五
五寸二	三九五
五寸四	三九五
五寸六	三九五
五寸八	三九五
六寸	三九五
六寸二	三九五
六寸四	三九五
六寸六	三九五
六寸八	三九五
七寸	三九五
七寸二	三九五
七寸四	三九五
七寸六	三九五
七寸八	三九五
八寸	三九五
八寸二	三九五
八寸四	三九五
八寸六	三九五
八寸八	三九五
九寸	三九五
九寸二	三九五
九寸四	三九五
九寸六	三九五
九寸八	三九五
十寸	三九五

寸六 三九五

寸四 四二〇

二寸 三九五

二八 三八五

五分厚

六分 三九〇

七分 三九〇

八分 三九〇

一寸 三九五

寸二 三九五

寸四 三九〇

寸六 三九〇

二寸 四二〇

二四 四一〇

二八 三九〇

三二 三九〇

鐵板 (三六物)(同)

十貫目

五厘 圓拾錢

八厘 四七〇

一分 四四〇

三入 四八〇

四入 四四〇

五入 四九〇

六入 四九〇

七入 五〇〇

八入 五二〇

九入 五三〇

十入 五五〇

十一入 六八〇

十二入 六一〇

一枚代

十三入 五八〇

丸釘 (同)

壹樽

十六貫目 拾圓拾錢

六分 一二五〇

七分 一二五〇

八分 一一八〇

一寸 一一四〇

寸二 一一〇〇

寸四 一一〇〇

13寸六 一〇七〇

12寸六 一〇五〇

12寸 一一〇〇

11寸 一一〇〇

二四 一〇八〇

二八 一〇五〇

三二 一〇三〇

三六 一〇〇〇

四寸 一〇〇〇

五寸 九九〇

家根釘 一〇八〇

二八 一〇八〇

三二 一〇八〇

亞鉛引線

東京野崎商店

十貫目

五番 圓拾錢

六番 七八〇

七番 七八〇

八番 六八〇

九番 七二〇

十番 七二〇

十一番 七二〇

十二番 七二〇

十三番 七二〇

十四番 七八〇

十五番 九〇〇

十六番 一二〇〇

十七番 一二〇〇

十八番 一三〇〇

十九番 一三〇〇

二十番 一四〇〇

二十一番 一五〇〇

二十二番 一六五〇

二十三番 一六五〇

鐵線 (同)

十貫目

一番 圓拾錢

二番 六三〇

三番 六三〇

四番 六三〇

五番 六三〇

六番 六三〇

七番 六三〇

八番 六五〇

九番 六五〇

十番 六五〇

十一番 六六〇

十二番 七〇〇

十三番 七〇〇

十四番 七〇〇

十五番 七五〇

十六番 九五〇

十七番 九五〇

十八番 九五〇

十九番 一一〇〇

二十番 一一〇〇

廿一番 一二〇〇

廿二番 一二〇〇

廿三番 一二〇〇

廿四番 一三〇〇

廿五番 一三〇〇

電信電話用亞鉛鍍鐵線

東京青木商店

油引 十貫目二付 圓十錢

四〇〇磅(鐵線) 八〇〇

貳〇〇磅(鐵線) 八〇〇

壹〇〇磅(鐵線) 八〇〇

六〇磅(鐵線) 九〇〇

三〇磅(鐵線) 一〇〇〇

同上用鋼線 一五〇〇

一七〇磅(鋼線) 一三〇〇

鐵條鋼トゲ付針金 一四〇〇

鋼線 スプリング用

東京青木商店

十貫目 拾圓拾錢

〇番 一五〇〇

一番 一五〇〇

二番 一五〇〇

三番 一五〇〇

四番	一五〇〇
五番	一五〇〇
六番	一五〇〇
七番	一五〇〇
八番	一五〇〇
九番	一五〇〇
十番	一五〇〇
十一番	一五〇〇
十二番	一五〇〇
十三番	一五〇〇
十四番	一五〇〇
十五番	一五〇〇
十六番	一五〇〇
十七番	一六〇〇
十八番	一六〇〇
十九番	一八〇〇
廿番	二〇〇〇
廿一番	二一〇〇
廿二番	二三〇〇
廿三番	二五〇〇

和玉鋼

安來 松浦彌商店

十貫目 拾圓拾錢

世界一印

天印	一六八〇
久印	一二〇〇
撰印	八〇〇
天印	一六八〇
刃印	一一五〇
刃印	七〇〇

以下六圓ヨリ三圓迄

商 况

和鐵 大阪 近藤喜兵衛

十貫目ニ付

圓拾錢

甲不吉	六八〇
吉	六四五
改吉	六五〇
吉	五九五
吉	五八八
吉	五二八
別製采	六五〇
同大上	六七五
同上	五八八
再改	四〇〇
再改	六三〇

(千草共)
出羽共

洋鋼 東京 河合商店

三割高

十貫目

拾圓拾錢

皇國一	二一五〇	東郷金床用	一三〇〇
真稀	一六七〇	▲鑛山用	一三〇〇
稀極	一四九〇	梅黃紙	五五〇
極天	一二八〇	旗青紙	七五〇
天飛	一〇九〇	白紙蝙蝠中空鋼	三〇〇〇
天吉	八六〇	兜青紙	八〇〇
天上	六六〇	▲鋸用	八八〇
改天	四五〇	兜赤紙平壹分厚	一一〇〇
改上	三一〇	樽平六尺物	八五〇
改中	二四〇	鷄白紙平一分厚	八五〇
極中	一五五〇	東郷黃紙平一分	一八〇〇
撰中	一二五〇	同青紙前挽用	八五〇
中中	八〇〇	東郷白紙前挽用	一八〇〇
中中	五四〇	▲撥條用	一八〇〇
改中	三五〇	秘印平鋼	六五〇
		電車印赤紙平	八五〇

瓦斯管 東京 梅岡己之助

舶來一尺

拾錢厘

二 分	五〇
三 分	六五
四 分	八〇
五 分	一五〇
六 分	一一〇
一 時	一六〇
時四分一	一八〇
一 時二分一	二二五
二 時	二九〇
二 時二分一	四四〇
三 時	五三〇
三 時二分一	六五〇
四 時	七八〇
五 時	九〇〇
六 時	一二〇〇

櫻印鋼

出雲 安來鐵鋼會社

優等高速度鋼	一五〇〇
高速度鋼	一〇〇〇
極硬度鋼	五〇〇
工具用鋼(燒番一號ヨリ六號迄各種)	二五〇
別製ヤスリ用鋼	二五〇
別製刃物用鋼(松鍛)	三五〇
同(竹鍛)	二五〇
刃物用鋼	一七〇
右ハ寺度五分角以上二吋迄(或ハ丸)	

引拔鋼管 日本鋼管株式會社

瓦斯管 (繼目ナシ引拔)

公稱内徑 壹呎ニ付 拾錢厘

壹吋 一七〇
 壹吋四分ノ一 一八〇
 壹吋二分ノ一 二二五
 壹吋四分ノ三 二八〇
 貳吋 二八五
 貳吋四分ノ一 三六〇
 貳吋四分ノ三 三七〇
 參吋 四〇〇
 參吋四分ノ一 四四五
 參吋二分ノ一 五七〇
 四吋 六四〇
 四吋二分ノ一 七四〇
 五吋 八二〇
 六吋 一、〇五〇

フラン管 (繼目ナシ引拔)

外徑 壹呎ニ付 拾錢厘

壹吋半 二〇〇
 壹吋六分 二三〇
 貳吋 二四〇
 貳吋六分 二五五
 參吋 二八〇
 參吋六分 三二〇
 參吋 三三〇
 參吋二分 四〇〇
 參吋半 四三〇
 四吋 五五〇
 五吋 八八〇
 六吋 一、一五〇

ステーク管 壹呎ニ付
 外徑 貳分厚 拾錢厘
 貳吋 五八〇
 貳吋半 六五〇
 貳吋六分 七五〇

參吋 七八〇
 參吋貳分 八〇〇
 參吋貳分 貳分五厘厚 九〇〇
 參吋半 九五〇
 四吋 一、〇〇〇
 右ノ外各種特製管賣價ハ其時ノ協議ニ依ル

亞鉛 東京 竹内 商店

百斤ニ付 拾圓拾錢
 BHP 亞鉛 六〇〇〇
 ホウヘンロー 六四〇〇
 M M G 一號 五二〇〇
 同 二號 五〇〇〇

錫 同上

百斤ニ付 拾圓拾錢
 丁錫 一〇五〇〇
 折錫 一〇六〇〇

鉛 同上

百斤ニ付 拾圓拾錢
 濠洲生子鉛 一五四〇
 舶來同棹鉛 一五五〇
 M M K 一四四〇
 上等棹鉛 一四五〇
 K E 生子鉛 一四〇〇

地銅 大阪 佐渡島商店

百斤ニ付 拾圓拾錢
 九九五型銅 五〇〇〇
 九九並丁銅 五〇〇〇
 九八並丁銅 五〇〇〇
 延地丁銅 五四〇〇
 長棹銅 五六五〇
 五七〇〇

統計

露國鐵鋼輸出入狀況 通商局の調査に據るに昨年

露國へ輸入せし鐵鋼の量及び其前年との對照左の如し。

商用鐵鋼 鍼力板鐵等 針金及び針金製品

一九一〇年	一八、七〇〇	七、一〇〇	七、四〇〇
一九一一年	二四、〇〇〇	七、〇〇〇	七、三〇〇
一九一二年	二八、八〇〇	六、七〇〇	七、七〇〇
一九一三年	三六、八〇〇	七、一〇〇	八、四〇〇
一九一四年	三七、八〇〇	四、七〇〇	七、三〇〇

又昨年輸出せし滿俺鑛は七三七、三〇〇噸にして之に對し一九一三年は一、二七二、〇〇〇噸、一九一二年は九八九、〇〇〇噸、一九一一年は六二三、〇〇〇噸、一九一〇年は六七一、〇〇〇噸なりとす

印度の滿俺鑛輸出狀況 英領印度より輸出せし

滿俺鑛は去る三月中に一六、一三一噸を算し、其内一三、一三一噸は英本國へ三、〇〇〇噸は佛國へ輸送せり、前年の同年には六一九一七噸なりし三日を以て終りとする年度及び其前年度の輸出額左の如し

輸 出 先 自一九一三年四月 至一九一四年三月 自一九一四年四月 至一九一五年三月

英 本 國	二五八、七七六	二七三、八一
獨 逸	一八九、九五〇	一四三、五〇〇
和 蘭	八、三〇〇	—
白 耳 義	一八七、八三二	六六、〇四三